



- 小金井市版 - 2013年11月号

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp



ともに生きる町へ

～人と地域がつながる町づくり～



小金井市議会議員

きしだ

まさよし

岸田 正義

より、ご報告いたします！

認証保育所2園の増設を含む第2回補正予算が可決！

待機児童数 188名（平成25年4月現在）の解消に向け、100名規模の認証保育所を増設

JR高架下に保育所を新設

平成26年4月開園予定
定員60名規模を予定
※農工大の北側高架下に設置（右下の地図）



学芸の森保育園を拡充

平成25年12月2日開園
定員40名 ※12月募集は終了
※既存の学芸大学施設内
保育11名からの拡充



経常収支比率99% 平成24年度決算報告

経常収支比率とは、財政構造の弾力化を示す指標で、この数値が高いほど自由に使えるお金が少ない。99%は多摩ワースト（多摩26市平均は92.9%）で、極端に言えば新たな政策を担う財源は1%のみ。それほど財政が硬直化し、財政的余裕がない状況と言えます。

平成24年度決算の概要

歳入は昨年比、市税は0.2%減と横ばいですが、総額は市債を抑制した結果、11.5%減となりました。歳出は昨年比、福祉にあたる扶助費が1.6%増、市民交流センターの委託費等の物件費が1.5%増ですが、総額は12.2%減でした。人件費は職員数18名減を含む3.4%減ですが、歳出総額が減った為、人件費比率では18.6%と多摩ワーストとなりました。

今後の課題

平成24年度は95.4%であった市税徴収率を向上させる（国立市98.3%並だと6億円の増収）とともに公共施設の屋外広告や屋根貸しビジネス等を検討し、歳入を増やしていく一方で、市民の健康寿命を延ばす施策による扶助費の削減や職員の時間外勤務を抑制する等の歳出削減に議会も努めていく必要があります。

1,340台規模の駐輪場新設を含む第4回補正予算が可決！

平成26年4月1日開設予定

定期利用と一時利用（台数は調整中）
※ピーコック東小金井店と農工大の北側高架下に設置予定。右図をご参照ください。

東大通り	ピーコック	農工大
		保育所 新設保育所
中央線高架北側道路		

第3回定例会にて一般質問を行いました！

一部をご報告します、詳しくは市議会HPをご覧ください

質問 小学校給食の未来について

- ① 民間委託に不安を抱えている**保護者を対象にした試食会**を行うべきではないか？
- ② 現在の学校給食運営協議会では保護者の意見が反映されない。**保護者や食育関係者、生産者など広く市民の意見を取り入れる協議会**を設置するべきではないか？

質問 学童保育の未来について

- ① 保育園の待機児童問題は未来の学童保育の問題でもある。現状ではなく、**未来指向での質と量のバランス**が重要ではないか？
- ② 市民ニーズに応え、量の拡充を図ると同時に保育の質を守るためには、全ての委託ではなく、**生活圏域の考え方に基づく直営と委託のベストミックス**が必要ではないか？

質問 待機児童解消対策について

- ① 市主動によるビジョンや**中長期的な保育計画がないことが問題**であり、御粗末と言わざるを得ない。こうした対応の遅れが50名もの待機児童増加の原因ではないか？
- ② 待機児童188名の84%が0～2歳であり、早急にそのニーズに対応する為に、空き家や空き店舗を活用する**東京都スマート保育を活用するべきではないか？**

質問 災害に強い町を創るために

- ① 総合防災訓練は市民にとっても貴重な機会である為、中止ではなく、**雨天時用のメニューを作成する必要がある**のではないか？
- ② 非常時に備え、公共施設への**太陽光パネルの設置、屋根貸しビジネス**を行わないか？

答弁 学校教育部長

- ① 業者の技術を知ってもらい、安心して頂く為に体制等を考えて実施する。
- ② 11月に検討委員会を設置し、広く保護者の方の意見を取り入れるシステムを構築する。



答弁 子ども家庭部長

- ① 限られた財源の中で、量的拡充及び質の維持向上を図るためには、総合的な見直しが必要なため、労使協議を締結した。
- ② 労使協議を継続するとともに、学童保育運営基準を活用しながら、学童保育運営協議会においても協議していく。

答弁 子ども家庭部長

- ① ご指摘のように保育計画を策定できなかったことが待機児童の増加に影響があったことは否めない。
- ② スマート保育については、0～2歳児を対象にした小規模の定員による保育施設であり、そのような低年齢児を対象にした施設について、前向きに検討していく。

答弁 危機管理担当部長

- ① 次年度以降、雨天時用のプログラムを検討していきたい。
- ② 先進市の事例や財政的な課題を検証しながら設置可能な施設があるか研究していく。

岸田正義のプロフィール

家族：母、妻、娘(4歳)、息子(1歳)の子育て奮闘中！！ 趣味：野球

1978年2月10日生まれ(35歳)

1984年 聖霊幼稚園 卒園(小金井市桜町)

1990年 小金井市立緑小学校 卒業

1993年 小金井市立緑中学校 卒業

1996年 錦城高等学校 卒業

2001年 明治大学政治経済学部 卒業

2002年 セントラル警備保障株式会社 入社

2006年 政治を志し、同社を退社し、
末松義規 衆議院議員(東京19区選挙区)
公設第一秘書として各地を奔走する。

2012年 地元、小金井で活動するべく、秘書を退職

2013年 小金井市議会議員 1,392票で初当選

皆様のお声を聞かせてください！！

岸田正義と歩む会事務所 〒184-0005 小金井市桜町1-10-24 TEL/FAX 042-383-1819

メール：mail@kishida-koganei.net

HP：www.kishida-koganei.net